

花の苑タイムズ

新年度 第一回 運営推進会議開く

活動報告、事業計画案を説明

新年度第一回目となる高崎花の苑運営推進会議が五月二十七日、苑内で開催されました。

会議にはご利用者家族代表をはじめ地域の新高尾、中川、浜尻の各地区から区長会長、民生委員会会長、公民館長等地域代表者や有識者の他、所管する高崎市役所担当課職員および高齢者安心センター職員等十三名が出席されました。

この日の推進会議では新年度により初めに自己紹介がありました。

続いて高崎花の苑・平成二十八年度事業目標と各ユニットにおけるアクションプランの説明の他活動報告や意見交換および出席者からの提言等がありました。

※運営推進会議とは

地域密着型サービス事業所は、国の基準で運営推進会議の設置が義務づけられています。

その目的は地域に開かれた運営、サービスを行うことであり、参加メンバーはご利用者の家族、地域住民の代表、事業所が所在する市町村の職員地域包括支援センターの職員などで構成されています。

「やるベンチャー」 中学生職場体験

高崎花の苑では、今年度高崎市「やるベンチャーウィーク」の参加者として市立中尾中学校から二名の生徒を受け入れ、実施しました。

期間は五月二十三日よ

平成28年 6月10日 発行

第21号

〒370-0002

高崎市日高町433-1

TEL:027-329-7211

社会福祉法人健全会

特別養護老人ホーム

高崎花の苑広報委員会



り二十七日までの五日間行われ、初日にオリエンテーションを管理者が担当して実施。プロジェクトを使い、県内の高齢者の現状や介護保険制度のこと、介護職の内容や使命などを学びました。その後、各フロアにて担当職員について職場体験を行いました。



「防災意識の向上へ「春季避難訓練」平成二十八年度春季避難訓練が五月二十八日、高崎北消防署担当者を迎えて実施されました。今回は日中の火災発生時を想定し、初期消火、通報、避難誘導の一連の訓練を行なった他、模擬消火器を使用したの消火訓練を行いました。この日の訓練について北消防署担当者は講評の中で、「出火場所を確認後、指示を出すまで時間がなかった」「避難完了までもう少し早くできるように」等の指摘をした上で「訓練は概ねよく出来ました。防災意識の高い施設との印象を持ちました」との評価を頂きました。さらに今後の取り組み

として、災害時の①情報管理②強いリーダー③人数の確認等の重要性について指針を頂きました。「ちよっと気分転換」(浜川運動公園)



賑やかに交流イベント 各種演奏会開く 五月交流イベントには新高尾ボランテア会所属アジサイクラブの他しの笛吹こう会様、高崎アコーディオンサークル様等が来苑されました。

Aユニットの菊池智様は浜川運動公園に職員と共に外出され、公園内にある「御布呂ヶ池」周辺を散策してきました。この日の菊池様のお目当ては池周辺に咲く約二千株ある花しようぶ。池周辺には十種の色取り取りの花しようぶが咲



き誇り、菊池様は思わず歓声を上げながらじっと眺めておられました。又、池の近くには小川が流れ、子供たちがザリガニ釣りや川遊びに興じている姿を、幼い日の情景が思わず甦ったのか、懐かしそうに見つめていました。

